



Cisco Unified Personal Communicator を使用した 通信履歴の操作

- [通信履歴について、9-2 ページ](#)
- [通信履歴のアイテムについて、9-3 ページ](#)
- [通信履歴のリストおよびアイテムの操作、9-4 ページ](#)
- [ボイスメールへのアクセス、9-6 ページ](#)

通信履歴について

コールの履歴は [通信履歴] ウィンドウに表示されるので、簡単にコールを確認して、コールを返したり、ボイスメールを再生できます。

[通信履歴] ウィンドウには受信したすべてのボイスメールメッセージと、最大 50 件の着信、発信、または不在コールが一覧表示されます。

新しいボイスメールは、録音後 1 分以内にリストに表示されます。

デスクの電話を使用して発信または応答したコールは、Cisco Unified Personal Communicator が稼働している場合にだけ、[通信履歴] のリストに表示されます。発信したコールは、**電話モード**がデスクの電話に設定されている場合にのみ表示されます。ボイスメールについては、これらに関係なく表示されます。

別のコンピュータからログインすると、そのコンピュータにログインしている間に発信および受信したコールだけが、そのコンピュータの通信履歴リストに表示されます。ボイスメールについては、これらに関係なく表示されます。





関連トピック

- [\[通信履歴\] ウィンドウの問題、10-24 ページ](#)



通信履歴のアイテムについて

- 未読のボイスメール アイテムは**太字**で表示されます。未読の通信のアイコンも色付きで表示される場合があります。
- 削除されたアイテムのうち、まだ消去されていないアイテムは、削除されたアイテムのリストに取り消し線の付いたテキストで表示されます。

[通信履歴] リストの各アイテムの左にあるアイコンは、アイテムの種類を示しています。

アイコン	通信の種類
	ボイスメール メッセージ 未読のアイテムは色付きで表示されます。
	不在コール 未読のアイテムは色付きで表示されます。
	応答した着信コール
	発信コール

通信履歴のリストおよびアイテムの操作

手順	方法
アイテムの通信の種類を確認する。	<ol style="list-style-type: none"> [通信履歴] ウィンドウの最初のカラムを確認します。アイコンによって通信の種類が識別されます。 アイコンの意味については、通信履歴のアイテムについて、9-3 ページを参照してください。
新規の不在コールまたはボイスメールの数を表示する。	<p>[通信履歴] ウィンドウの上部にあるアイコンを確認します。数字の左側にあるアイコンは種類を示しています。</p> <p>例：</p> <p>不在コール： 4</p> <p>ボイスメール： 1</p> <p>ボイスメールを再生したかどうかにかかわらず、「未読」アイテムを開くたびにカウントが調整されます。未読アイテムが存在しない場合、その種類のカウンタは表示されません。</p> <p>会社によっては、これらのインジケータに数字を表示しないように設定されている場合があります。アイコンが表示されている場合は、その種類の新規アイテムが少なくとも 1 つ存在することを示しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 特定の種類の通信だけを表示する。 削除されたアイテムを除くすべての通信履歴を表示する。 削除された通信アイテムを表示する。 	<p>[履歴] > [表示] を選択して、オプションを選択します。</p> <p>削除されたアイテムを表示するには、[削除] を選択します。</p>
リストをソートする。	<p>ソートするカラム ヘッダーをクリックします。</p> <p>もう一度クリックすると、逆順にソートされます。</p>

手順	方法
アイテムの詳細を表示する。	Control キーを押しながら [通信履歴] リストのアイテムをクリックして、[情報の表示] を選択します。
ボイスメールアイテムを既読または未読にする。	Control キーを押しながらボイスメール アイテムをクリックして、[未読にする] を選択します。
アイテムを削除する。	次の方法で、アイテムに削除のマークを付けます。 アイテムを Control キーを押しながらクリックして、[項目の削除] を選択します。 削除のマークを付けたアイテムを完全に削除する方法については、この表にある別の指示を参照してください。
アイテムの削除を取り消す。	<ol style="list-style-type: none"> [履歴] > [表示] > [削除] の順に選択します。 削除のマークを付けたアイテムを Control キーを押しながらクリックして、[削除しない] を選択します。 <p>すでに完全に削除されているアイテムは削除できません。</p>
削除のマークが付けられたすべてのアイテムを完全に削除する。	Control キーを押しながら [通信履歴] リスト内をクリックして、[履歴] > [削除済み完全に消去] を選択します。

関連トピック

- [ボイスメールへのアクセス、9-6 ページ](#)
- [\[通信履歴\] ウィンドウの問題、10-24 ページ](#)

ボイスメールへのアクセス

会社の設定で許可されている場合は、Cisco Unified Personal Communicator でボイスメール メッセージの受信と再生が可能です。



(注)

削除したボイスメール メッセージを定期的に消去するしないと、Cisco Unified Personal Communicator の起動やボイスメールへのアクセスにかかる時間が非常に長くなる場合があります。通信履歴アイテムを完全に削除する方法については、[通信履歴のリストおよびアイテムの操作](#)、9-4 ページを参照してください。

手順	方法
ボイスメール メッセージのリストを表示する	[履歴] > [表示] > [ボイスメール] の順に選択します。
ボイスメールを再生する。 <ul style="list-style-type: none"> 最初まで巻き戻し 巻戻し 再生 一時停止 早送り シーク (メッセージの特定の位置まで巻き戻し) 再生音量の変更 	<ol style="list-style-type: none"> [通信履歴] リストのボイスメール アイテムをダブルクリックします。 適切なボタンをクリックするか、適切なスライダを動かします。 大きい方のスライダがシーク用のスライダです。
削除したボイスメールを復元する。 (電話機と Cisco Unified Personal Communicator のどちらから削除したかには関係ありません)	<p>通信履歴アイテムの削除を取り消す方法を参照してください。</p> <p>削除したボイスメールを完全に消去すると、そのボイスメールは復元できなくなります。</p>

関連トピック

- [ボイスメールの設定、1-5 ページ](#)
- [通信履歴について、9-2 ページ](#)
- [通信履歴のリストおよびアイテムの操作、9-4 ページ](#)
- [ボイスメールに関する問題、10-25 ページ](#)

■ ボイスメールへのアクセス